

学校番号	1	学校名	沼津視覚特別支援学校	校長名	田淵 尚子
------	---	-----	------------	-----	-------

1 目指す学校像

- ・幼児児童生徒が 『学びがいのある学校』
- ・保護者・保証人が『通わせがいのある学校』
- ・職員が 『働きがいのある学校』
- ・外部の関係機関が『頼りがいのある学校』
- ・地域が 『応援しがいのある学校』

(1) 教育目標 『自立する人を育てる』

- 【自立する人とは】
- ・《知》豊かな感性と考えをもつ人
 - ・《心》他者と自分を愛する人
 - ・《体》健康な体を保つ人
 - ・逞しく自らの未来を切り拓く人
 - ・必要な支援を依頼でき、それに感謝できる人

(2) 目標具現化の柱

- ア 視覚障害教育の専門性と授業力の向上、キャリア教育の充実
- イ 命と心を守る安全安心な教育環境
- ウ 地域とのつながり、視覚特別支援学校としてのセンター的役割の発揮
- エ 働きがいを感じ、高めあう職場環境づくり

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

※各学部はいずれの項目にも取り組む

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 視覚障害教育の専門性と授業力の向上、キャリア教育の充実	幼児児童生徒を主語にした「問いをもち、分かったと実感できる授業づくり」	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ研修（中心授業年3回）と一人一授業公開 ・外部研修会への参加と校内伝達研修 ・研修講演会「はごろも『夢』講演会」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を生かし、個に応じた授業づくりができた教員 100% ・授業が分かりやすく、楽しいと思うと答えた幼児児童生徒 100% 	研修課
	視覚特別支援学校としての学習環境づくり （教員の専門性向上、教材教具、ICT活用、歩行訓練士、視能訓練士等の活用）	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性向上のための研修年4回以上 ・自立活動通信年3回以上 ・視能訓練士、歩行訓練士による校内環境の指導年3回、助言内容を職員に共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立活動研修、視能訓練士、歩行訓練士との連携で得た知識や技能を授業、生活指導で活かすことができた教職員 100% 	自立活動課
	自立へのビジョンをイメージしたキャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階や年齢に応じた、キャリア教育に関する研修、情報提供 年3回以上 ・発達段階や年齢に応じた、キャリア教育に係る授業の実践 ・個別面談で将来の生活や目指す姿につながる現在の指導について保護者と共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児児童生徒の発達段階や年齢に応じた、キャリア教育の視点で授業を実践することができた教員 100% 	キャリア支援課

様式第1号

イ 命と心を守る安全安心な教育環境	自分事と捉え、自ら考え、行動する防災教育	<ul style="list-style-type: none"> 様々な発生状況を想定した避難訓練や事前事後学習の設定 幼児児童生徒のあられを学部内で情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 学びや経験を活かして命を守る行動ができたと答えた幼児児童生徒 80%以上 	生徒指導課
	自分も仲間も大切にす る心と体の教育	<ul style="list-style-type: none"> 仲間との交流や運動の楽しさを味わうことができる全校集会や運動週間等の実施 発達段階に応じた系統性のある人権教育の実践 	<ul style="list-style-type: none"> 仲間との交流や運動の楽しさを味わうことができた幼児児童生徒 100% 人権教育年間指導計画を活用し、人権感覚を意識した指導ができたと回答した教員 100% 	生徒指導課 体育保健課 生徒指導課
ウ 地域とのつながり、視覚特別支援学校としてのセンター的役割の発揮	幼保、学校、行政等との連携による教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> 相談者の在籍市町の学校訪問、園訪問、関係機関と連携を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携後、支援が深まったと回答した相談者 100% 	支援部
	教職員一人一人が理解推進の意識向上	<ul style="list-style-type: none"> 東部地区市町の障害福祉課、ハローワーク、関係機関へ全教員で理解推進 医療と福祉と教育担当者会、放デイ担当者会の実施 <p>(高等部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高等部独自での理解推進活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> 行事ごとのホームページ記事作成の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学校への理解が深まった割合が 80%以上 <p>(高等部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係者の集まる場や関連機関等での高等部学部説明 年4回以上 ホームページの更新内容・時期が適正と考える保護者 80% 	支援部 高等部 教務課
	豊かな心と経験を作る交流教育	<p>(小学部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境学習、詩を楽しむ会等の校外の方と関わる機会の設定 <p>(中学部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が中心になって企画運営する交流活動の実施。 <p>(高等部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域やイベント等でのマッサージ奉仕の実施 	<p>(小学部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動を通して関わりを楽しめたと感じる児童 80% <p>(中学部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動を通して、様々な人から学びや経験を得たと感じる生徒 80% <p>(高等部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施術をとおして、様々な人から学びや経験を得たという生徒 100% 	各学部

様式第 1 号

<p>エ 働きがいを 感じ、高 めあう職 場環境づ くり</p>	<p>働きやすい学校にする ためにチームで考え行 動する職員集団</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学部等を超えた職員グル ープでの研修や協働業務 年 2 回以上 ・事務職員等の校務運営（情 報、私費会計業務等）への 参画 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談、協力しやすい 職場だと思えた職員 100% ・教員、事務職員の専 門性を生かした役割 分担を検討し、令和 7 年度中に実施体制 を構築 ・校内美化が行き届い ている学校と感じる 保護者、教職員 80% 以上 	<p>企画会 事務部</p>
--	--	---	---	-------------------------